

句集 未踏の天

吉井たくみ 著

『鷹のつらきびしく老いて 評伝・村上鬼城』で
第2回 稲畑汀子賞奨励賞（評論部門）を受賞した
著者による待望の第一句集が刊行！

熊本での偶然の出会いから始まった俳句修業は、
十余年の歳月を経て、確かさと大きな飛躍を刻む
一句一句へと結実した。自然への鋭いまなざし、
土地への深い愛着、旅先での発見、そして人への
あたたかな情が息づく 378 句を収録。



序＝岩岡中正（「阿蘇」主宰）
跋＝山田閨子（「初桜」主宰）
四六判上製 / 232 頁
定価 2860 円（本体 2600 円＋税 10%）

著者＊吉井たくみ

1960年2月、群馬県高崎市生まれ。農林水産省、内閣府、消費者庁等を経て、現在、（一社）日本即席食品工業協会専務理事。2013年より「阿蘇」に入会し、俳句を始める。岩岡中正に師事。2023年、『鷹のつらきびしく老いて 評伝・村上鬼城』刊。これにより2024年、第2回稲畑汀子賞奨励賞（評論部門）受賞。現在、「阿蘇」、「初桜」、「櫻草」同人。日本伝統俳句協会理事、俳人協会会員。

〈収録作品より〉
ライオンの眼にサバンナの秋夕焼
靄埃咳込む母の小さくなり
待春の操舵に立ちて宜候
毛糸編む妻の肩より暮れかかり
冬すみれ今日も小さき旅をして
金剛の冬芽遍く天を指し
春耕の寸土に年を重ねけり
一本の青梅雨となる神田川
咲き初めしあぢさゐはまだ風のいろ
ちつぽけな吾にも流星群の降る

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRC より全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。（了解者 JRC 宮尾）

番線印	注文数	句集 未踏の天 吉井たくみ 著
	冊	
ご担当：様	注文日	四六判 / 上製 / 232頁 / 定価：2860円（本体2600円＋税10%） ISBN978-4-911090-37-4 C0092
	／	